

第8次三春町長期計画(概要案)に対するパブリックコメント等について

	意見 等	町の回答内容 等
1	町の支出・要望は見えるが、どうやって町を潤すのかが見えてこない。町の収入をどうするかで、特許の町作りを進めて欲しい。町民の皆様や県内外のアイデアを頂きながら、町の施設等こうすれば支出を抑えられるとか、農家の収入増加に繋がるなど特許に繋がるようなアイデアを出した方にはプレゼントをするなどあると夢が広がります。	長期計画の中で重点プロジェクトとして「地域経済が成長し、安心して働けるまち」を目標の一つに掲げ、具体的な取組みを進めていきます。特許に係る内容については、ご意見として承ります。
2	PDCAサイクルは、計画を作ったら、行動してみて、評価し、更なる改善を図ることですが、今の長期計画の評価からの改善策が、どう新長期計画に引き継がれていくのかが読み取れません。具体的な問題点が点在しているのに、対策を講じないまま新計画がスタートする印象を受けます。	第7次計画の評価での課題や地区との意見交換会での住民ニーズ等を踏まえ、第8次計画の取組みを整理して記載しています。改善策等が読み取れないとのご指摘については、全体版において、基本計画の政策分野ごとに課題や今後の方向性等を整理したうえで、今後の取組みを記載することとします。
3	毎年の進行管理ですが、公表しているのでしょうか？しているとすれば、そんな形で行っていますか。また、新計画ではどのような形で進行管理を公表するのでしょうか。	現在の第7次計画での進行管理は、毎年度、役場内部での評価を行っていました。公表はしていなかったため、第8次計画に当たって、町ホームページ等により進行管理の公表を行っていきたいと考えています。
4	町政に「最重要目標」という考えはないのでしょうか。一番優先すべき計画にメリハリが無く、三春町は「何に向かって進んでいるのか」の意識を町民も持ったほうが良いと思うのですが。また、具体性がないと絵空事という印象を拭うことが出来ません。	長期計画は町の最上位計画という位置づけのなかで、町の将来像（目指すべき町の姿）を掲げ、その実現に向けて、行政全般の業務を網羅する形になっています。ご指摘の最重要目標等の考え方については、第8次計画のなかで、重点プロジェクトを位置づけ、取組みを進めることとしています。

	意見 等	町の回答内容 等
5	各指標のA～D評価について、何に対してその評価がでたのか、母数がわからないため、根拠となるデータをQR等で見えるようにして欲しい。また、前期・後期評価ででてくる「－」の意味は何なのか。指標があったのに評価しなかったということなのか。	A～Dの評価については、各指標ごとに基準値・目標値を設定しており、実績値を基にA～D評価を出しています。各指標の根拠データについては、資料編等で整理させていただき予定としています。 「－」の標記については、前期・後期それぞれで指標としていなかった項目となります。前期の「－」は、後期で新たに指標に加えた項目であり、後期の「－」は、後期計画策定の際に指標の見直しで削除された指標になります。
6	「こども計画」とはどんな計画なのか。 また、「家庭の教育力の向上」とは具体的に何をするのか。	こども計画とは、こども基本法において国が定める「こども大綱」を勘案して市町村が策定することとされている計画になり、今年度、町でも策定作業を進めています。 家庭の教育力の向上については、子どもが家庭で健やかに成長していけるよう、保護者に対して、子育てに関する学習の場を様々な機会をとおして提供していくなどの取組みを想定しています。
7	子育ての経済的負担の軽減、子育てと仕事の両立支援とは具体的にどんな支援なのか。 また、あそび場の充実・維持とは具体的に屋内あそび場の事か。	子育ての経済的負担の軽減とは現在も行っているすくすく子育て電子マネーの交付や医療費助成などの支援であり、子育てと仕事の両立支援とは、保育所・こども園や児童クラブの運営など親が仕事で子育てできない時間の支援を想定しています。 また、あそび場の充実維持というのは、屋内あそび場も含めた既存の公園等の整備検討と維持管理を想定しています。
8	学校給食の充実・食育の推進とは給食無償化は想定されているのか。また、教育機関と連携した地域の活性化とは具体的に何をするのか。	学校給食の充実・食育の推進については、学校給食の安定した提供を継続していくなかで、給食内容の充実を図っていく、食育を推進していくことを想定しています。第2子以降の子どもの無償化については、既に取組んでいます。 教育機関と連携した地域の活性化とは、地域の子どもは地域で育てるという考えのもと、地域とともにまほらっこ教室を継続していく、充実していくことなど等を想定しています。

	意見 等	町の回答内容 等
9	町民図書館のあり方の検討とは、5年間であり方の検討だけか、施設整備まで行うのか。	町民図書館に関しては、今までも様々な検討が行われてきた経緯があり、そうした経緯等も踏まえ、あらためて「町民図書館のあり方」から検討を進め、その検討のなかで、具体的な内容を整理していくことを想定しています。
10	地域医療体制の構築とは町内における夜間診療体制の構築は考慮されているか	地域医療体制の構築については、夜間診療体制も含めての内容になりますが、夜間診療体制については、現状の枠組みをできる限り維持していくことを想定しています。
11	地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進とあるが、行動計画にしてほしい。また、地域福祉の意識醸成とはこのために、現状の何を変えようとしているのか。	現行の計画についても、具体的な行動・内容について、示させていただいています。地域福祉の意識醸成については、様々な機会をとおして、地域の中での支えあい活動等の重要性を理解してもらうための取り組みを想定しています。
12	シティプロモーションの推進で、シティプロモーションの推進4とあるが、1～3があるのか。また、情報公開制度の活用促進というのであれば、しっかりと情報公開して欲しい。過去に情報公開を請求したが、殆どが墨塗潰しでは公開の意味ないと感じた。	4の記載は誤字だったため、削除いたします。情報公開については、ご意見として承ります。
13	姉妹都市との交流に係る現状の問題点と今後の目標は何か。地域間交流の推進の地域間とは具体的にどこを想定しているのか。国際姉妹都市との交流で、ライスレイクとの姉妹都市締結から30年、これからの交流在り方（方針）をどのようにとらえているのか。	姉妹都市である一関市やライスレイク市との交流については、コロナ禍で実施できていなかった事業等が再開できるようになり、今後も姉妹都市との交流について、充実・強化を図っていくことを想定しています。地域間交流としては、主に震災応援で関係のある愛西市や尾張旭市、小鹿野町、震災前から交流がある東京都目黒区などを想定しています。また、ライスレイクとの交流については、海外の異文化等を学ぶ機会と捉え、国際感覚を身につけた、これからの三春町を担う人材の育成につながるよう取り組みを進めていきたいと考えています。
14	こおりやま広域連携中枢都市圏連携事業の推進について、中期プランの中での最大の目標は何なのか。	こおりやま広域圏では、都市圏ビジョンを策定して各項目ごとに目標を設定して事業を進めています。

	意見 等	町の回答内容 等
15	日本型直接支払制度による協働活動等の支援とは具体的にはどのような協働活動が実施できるのか。	農業・農村が有する多面的機能の維持等を図るため、中山間地域等における水路や農道等の管理活動や農村環境の保全活動等になります。
16	アウトドアの推進等による通年型観光の推進について、第7次からの進展事項はあるのか。	第7次計画の期間中に、観光振興・交流人口の増加などを目的として、アウトドア・アクティビティに係る事業を進めてきました。第8次計画については、現在、進めているアウトドア・アクティビティに係る事業をさらに進めていくことを想定しています。
17	国土強靱化地域計画の推進とは、第7次の継承と言うことか。	ご指摘のとおり、継続した取組みになります。
18	交通安全の啓発で、免許返納世代が増えることが予想されるが、これらの対応策を検討しているのか。	高齢者等運転免許証自主返納支援事業の継続や公共交通体制等の見直しのなかで、対応していくことを想定しています。
19	防犯設備の整備・維持管理について、昨今、頻発する強盗事件等を鑑み、防犯意識の向上もさる事ながら、地元警察との連携しての対策が必要。特に夜間から早朝にかけての対策を検討されているか。 (されていれば住民と共有を急がれたい)	防犯灯の設置や維持を継続していくこと、防犯協会との連携による地域の防犯パトロールや情報発信など、関係機関と連携して、各種防犯対策に取り組んでいくことを想定しています。
20	概要案P30の「生活環境分野」の「生活を共にする動物の愛護」について ・私の住む地域でも野良猫と思われる猫の糞害などが問題となっており、動物を適切に飼うことへの指導などは非常に重要な事項であると思います。ただ、騒音や土壌汚染などの公害対策、動物愛護や適切な飼育などを含めた項目としたほうがよいのではないのでしょうか。	騒音等に係る生活環境全般に係る取り組みを進めることで想定していたところですが、ご指摘のとおり、動物愛護だけではなく、生活環境全般に係る取り組みとして、記載内容を修正しました。